

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(I) 労働時間						
前年度（ 年度）						
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	13,183	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,255	人	
				利用者の1日の平均労働時間数	4	
					時間	
(II) 生産活動						
会計期間（ 4月～ 3月）						
前々年度（ 年度）	生産活動収入から経費を除いた額	0 円	利用者に支払った賃金総額	0 円	収支	0 円
前々年度（ 5年）	生産活動収入から経費を除いた額	4,879,676 円	利用者に支払った賃金総額	4,879,430 円	収支	246 円
前年度（ 6年）	生産活動収入から経費を除いた額	14,100,875 円	利用者に支払った賃金総額	14,089,366 円	収支	11,509 円
(III) 多様な働き方						
前年度（6年）における取組（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）						
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	②利用者を職員として登用する制度	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律				
◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	◎利用者を職員として登用する制度を定めている	在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている				
④フレックスタイム制に係る労働条件	⑤短時間勤務に係る労働条件	⑥時差出勤制度に係る労働条件				
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている				
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	⑧傷病休暇等の取得に関する事項					
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている					
(IV) 支援力向上						
前年度（6年）における取組（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）						
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	②研修、学会等又は学会誌等において発表	③視察・実習の実施又は受け入れ				
◎研修計画を策定している	◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	◎先進的事業者の視察・実習の実施している もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている				
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	※研修名 第4回 はぐくみ学会 実施日 2月 14日 ※学会誌等名 掲載日 3月 7日 発表テーマ 一般就労に向けて	※先進的事業者名 (社福) 南高愛勝会 実施日/ 参加者数 3月 7日 1人 ※他の事業所名 実施日/ 参加者数 月 日 人				
※研修名 はぐくみ支援力向上研修会 研修講師 (株) GLUG 福祉事業運営部 実施日・受講者数 10月 25日 1人						
④販路拡大の商談会等への参加	⑤職員の人事評価制度	⑥ピアソーターの配置				
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	◎職員の人事評価制度を整備している ◎当該人事評価制度を周知している 人事評価制度の制定日 6年 9月 1日 人事評価制度の対象職員数 4名 うち昇給・昇格を行った者 2名 当該人事評価制度の周知方法 個別面談をし労働条件通知書にて通知	◎ピアソーターを配置している ◎当該ピアソーターは「障害者ピアソーター研修」を受講している ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容				
※商談会等名 お弁当受注の販売・展示会 主催者名 学校法人尾閑学園 日時 4月 28日 内容 学校購買用のお弁当導入 に向けての販売及び展示会						
⑦第三者評価	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等					
◎前年度末日から過去3年内に 福祉サービス第三者評価を受けている	◎ISOが制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている  ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関					
※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関	※認証を受けた日 月 日 規格等の内容					
(VI) 経営改善計画						
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、 経営改善計画書へ提出した						
※受理日 年 月 日						

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。



















